

<浜松医科大学医学部附属病院> 内科

<プログラム類型>

① 専門コース

<プログラム概要>

初期臨床研修2年間を終了し、その後、内科専門プログラム研修施設で、内科専門医制度研修プログラムに定められた内科領域全般にわたる研修を行った後、感染症専門研修施設で、感染症の専門医に求められる知識と技能を習得します。また、それに加え、患者に人間性をもって接するのと同時に、医師としてのプロフェッショナリズムとリサーチマインドの素養も修得し、可塑性が高く、様々な環境下で全人的な医療を実践することが出来る感染症専門医を育て上げます。

<取得できる資格>

総合内科専門医
感染症専門医

<現時点の受入見込数>

5人

<具体的なコース>

← うち、4年間を医師不足地域で勤務 →

初期研修 2年	後期(専門)研修 3年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 4年
県内病院	基幹病院としての浜松医科大学病院(6ヶ月～2年間)と連携病院(1年間～2年6ヶ月間)	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂		上記のとおり
熱海伊東		
駿東田方	静岡県立がんセンター、沼津市立、静岡医療センター、NTT東日本伊豆病院	
富士	富士宮市立	
静岡	県立総合、静岡市立静岡、静岡市立清水、静岡赤十字、静岡済生会、静岡厚生病院、静岡徳洲会	
志太榛原	島田市民、焼津市立総合、藤枝市立総合、榛原総合	
中東遠	磐田市立、御前崎、菊川、中東遠	
西部	市立湖西、国立病院機構天竜、遠州、聖隷浜松、聖隷三方原、浜松医療センター、浜松労災、浜松赤十字	